

十月三十日刊行、新典社、A5判三五七頁、定価一〇八〇〇
(円) (清田文武 記)

序章 日記文芸の方法

第一篇 「土佐日記」——周縁の視点の発見

第二章 日記文芸を拓く〈女〉の視点

第二章 不変の「心」——女子追慕の意味

第二篇 「蜻蛉日記」——周縁の視点の外在

第二章 侍女の視点と表現位相

(1) 〈私〉を見る周縁の人々

(2) 会話者の役割

第二章 〈私〉と他者の構造

(1) 兼家との「世の中」

(2) 「世の中」の変容①——道綱恋愛贈答歌

(3) 「世の中」の変容②——遠度求婚譚

第三篇 「和泉式部日記」——周縁の視点の内

第一章 「端」空間の風景

(1) 平安文芸の「端」

(2) 「和泉式部日記」の「端」

第二章 「女」と「宮」の世界

(1) 「故宮」の影——恋の支柱

(2) 対話の構図

(3) 歌と「ことば」

(4) 「おなじ心」の達成と転回

第三章 「宮」と「北の方」の世界

(1) 宮邸の日々——変貌する日記世界

(2) 対話不在の構図

第四篇 「紫式部日記」——周縁の視点の成熟

第一章 紫式部の位相——「見る」女房

第二章 「ものいひさがなき」紫式部——「見る」女房の行方

第五篇 「更級日記」——周縁の視点の定位

第一章 宮仕への構造

第二章 孝標女の位相——周縁の女房

終章 周縁の視点の展開

初出一覧

あとがき

索引

大橋勝男編著『新潟県言語地図』

東条操の方言区画図によれば、新潟県の方言は、西部方言に属する北陸方言の一派たる佐渡地域の方言と、東部方言に属する東海東山方言の一派たる上越・中越地域の方言、同じく東部方言に属するものの、東北方言の流れを汲む下越地域の方言とに大きく分かれたるようである。即ち、当県の方言は、東西二大方言のせめぎ合いと、周辺の中部・関東・東北の諸方言との複雑な交渉の歴史の中に置かれているのであ

て、日本海側という、ある意味でマイナーな地域に位置しながらも、日本の方言の伝播のメカニズムを説明する上では、最も重要な方言の一つに考えられるのである。

編著者の当初の研究対象は、『関東地方域方言事象分布地図』(全三巻、一九七四～七六年、桜楓社刊)、その解釈・研究編であるところの大著『関東地方域方言についての方言地理学的研究』(全四巻、一九八九年～九二年、おうふう刊)に示される如く、出身地栃木県を中核とする正に「関東地方域」にあった。が、新潟大学赴任以後、その対象は関東地方に隣接する当県へ、近時にあつては更に「日本海沿岸方言」へと大きく拡がりつつある。本書は、言わばその中間まとめの一つとして世に問われたことになる。最近の方言研究の趨勢が社会言語学的研究にある中、膨大な時間と労力を要する言語地理学的研究は旗色が悪いように見える。しかし、言語地理学的研究こそ方言学の王道ではあるまいか。この王道を行う編著者によって、近い将来「日本海沿岸方言」についての方言地理学的研究がまとめられることを切に願うものである。本書は、全部で二三七枚の言語地図とその解釈とから成る。紙幅の都合によりその一々を紹介することは差し控えるが、次に全体の構成(本書「細目次」による)を掲げ、紹介に代えさせていただく。

一 発音

- (一) 母音 [Map1] ~ [Map9] (二) 子音 [Map10] ~ [Map23]
- (三) 音便 [Map24] ~ [Map28]

二 アクセント

- (一) 名詞 I 一 拍語 [Map29] ~ [Map35] II 二 拍語 [Map36] ~ [Map66] III 三 拍語 [Map67] ~ [Map78]
- (二) 動詞 I 一 拍語 [Map79] ~ [Map81] II 三 拍語 [Map82]
- (三) 形容詞 [Map83] [Map84]

三 文表現法

- (一) あゝやゝ [Map85] [Map86] (二) 呼びかけ [Map87] ~ [Map98] (三) 聞きかけ [Map99] ~ [Map102] (四) 応答 [Map103] ~ [Map110] (五) 勧誘 [Map111] ~ [Map113]
- (六) 依頼 [Map114] ~ [Map116] (七) 命令 [Map117] [Map118]
- (八) 禁止 [Map119] [Map120] (九) 感動 [Map121] [Map122]
- (十) 同意要求 [Map123]

四 文法

- (一) 動詞の活用 [Map124] ~ [Map137] (二) 連体詞 [Map138] ~ [Map139] (三) (補)助動詞 [Map140] ~ [Map157] (四) 準助動詞 [Map158] ~ [Map160]
- (五) 助詞 [Map161] ~ [Map171]

五 語彙

- (一) 天地 I 自然 [Map172] ~ [Map185] II 時 [Map186] ~ [Map190] (二) 動物 [Map191] ~ [Map197] (三) 人 [Map198] ~ [Map216] (四) 遊び [Map217] ~ [Map219]
- (五) 食べ・飲む [Map220] ~ [Map222] (六) 農業 [Map223] ~ [Map225] (七) 一般語 [Map226] ~ [Map237]

(一九九八年二月二五日、B 4 判・四九六頁、二五、〇〇〇円、高志書院刊) (鈴木 恵 記)

受贈雑誌・図書目録 (平成九年三月以降(二))

- 国語国文論集 第28号 (安田女子大学日本文学会)
国文学研究 第121・122・123集 (早稲田大学国文学会)
高大国語教育 第44号
国語国文学報 第55集 (愛知教育大学)
国文学論考 第32・33号 (都留文科大)
国学院大学大学院文学研究科論集 第24号
国語教育論叢 第7号 (島根大学国文学会)
論叢国語教育学 第2・3号 (広島大学)
滋賀大國文 第35号
国語学研究 36 (東北大学国語学研究室)
人文研究(国語・国文学)第48巻第10分冊(大阪市立大学)
福岡教育大学国語科研究論集 38
中国研究集刊 暑号 (大阪大学)
日本語日本文学 第23輯 (輔仁大学外語学院)
福岡大学日本語日本文学 第7号
国語国文研究 第106・107号 (北海道大学国語国文学会)
横浜国大國語教育研究 第6・7号
文教大学国文 第25号
横浜国大國語研究 第15号

受贈雑誌・図書目録 (平成九年三月以降(三))

- 米沢国語国文 第25・26号
弘前大学国語国文学 第19号
広島女学院大学国語国文学誌 第26・27号
国語教育研究 第40号 (広島大学光葉会)
国語表現研究 第10号 (大阪教育大学国語表現研究会)
学大國文 第40号 (大阪教育大学国語国文学研究会)
広島女学院大学日本文学 第7号
東北大学文学部日本語学論集 第6号
信大國語教育 第7号
山口国語教育研究 第7号
日本文学研究年誌 第6号 (金沢学院大学日本文学研究室)
国文学研究資料館蔵マイクログ資料目録 一九九六年
清泉女子大学大学院人文科学研究科論集 第3号
三重大学日本語学文学 第8号
無差第4号 (京都外国語大学)
富山大学国語教育 第22号
きのくに国文 3
文教大学国文 第26号